



資料編

1 用語解説

あ行

ICT

Information and Communication Technology の略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット）などの情報通信技術を示す言葉のこと。

AI

人工知能（Artificial Intelligence の略）のこと。人間がもっている、認識や推論などの能力をコンピュータでも可能にするための技術の総称

SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service）の略で、人と人とのつながりを支援するインターネット上のサービス

NPO法人多文化共生協会

人権尊重の精神を基調として、外国籍・日本人双方の市民へ向けて、市民を主体とした幅広い分野における国際交流・多文化共生を推進することにより、外国籍市民を含めた市民一人ひとりが安らぎのある暮らしが送れる環境を創り、多文化のまちづくりに寄与することを目的に活動している米原市内の団体。平成 23 年 7 月 15 日に設立された。

OJT

「On the Job Training」の略称で職場内での実務を通してトレーニングを行う人材能力開発における 1 つの技法。具体的には職場の上司が部下に具体的な実務を与え、実務を通して知識と技術、態度などの指導に当たり、習得させるトレーニングを指す。

お話しボランティア

図書館、学校等における読み聞かせ等の活動を通じて、子どもが本に親しむ機会の提供を担うボランティア活動

か行

外国語指導助手（ALT）

Assistant Language Teacher の略で、外国語を母国語とする外国語指導助手のことを指す。小学校や中学校・高等学校に児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に各教育委員会から学校に配置され、授業を補助している。

学校支援ボランティア

小中学校において行われるボランティア活動、またはそれを担う人材。主に学習・体験活動や図書館に関わる内容に従事する。

キャリア教育

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことを促す教育」のこと。

子どもたちが社会の変化に対応し生き抜く力や、社会の一員として自分の役割を果たしながらよりよく生きる力を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるようにするため、児童生徒一人ひとりに望ましい勤労観、職業観を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育てる教育を進めている。

キャリア・パスポート

学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動のため、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材。小学校入学時から高等学校卒業時までの共通様式等を持ち上がり活用する。

教育課程特例校

文部科学大臣が、学校教育法施行規則第 55 条の 2 等に基づき指定する学校において、学校または地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度。

教育支援センター「みのり」

不登校状態の児童生徒を対象とした米原市山東支所にある通所施設で、学校と連携をとりながら、子どもの心の安定や学校復帰の支援を実施。

国際理解教育協力員（MG T）

米原市において国際理解教育を行う者（Maibara City Global Understanding Education Teacher の略）。

子育て世代包括支援センター

妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門家が対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供する拠点

子どもケアサポーター

教員免許をもち、子どもに寄り添うことで心の安定を図ることを目的に、小・中学校に派遣される支援員。別室登校の子どもに学習や生活指導をしたり、教室で個別支援の必要な子どもの側で援助したり、個別で対応する支援員のこと。

米原市子ども読書活動推進計画

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。米原市では、これまでの取り組みの成果や課題と、子どもの読書を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、本市の子ども読書活動をさらに推進することを目指して、令和3年1月、「米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）」を策定した。

子ども 110 番のおうち

子どもが登下校時や公園広場等で声掛けや痴漢、つきまとい等何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めてきたときにその子どもを保護するとともに、警察、学校、家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていく活動のこと。

子ども 110 番のくるま

集落から外れ、人通りの少ない場所や「子ども 110 番のおうち」がない場所を補充するため、車両にステッカーを貼り、地域や通学路の巡回など、子どもの見守りを行う活動のこと。

学校運営協議会制度

地域住民や保護者が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みのこと。教育委員会から任命された委員が、学校運営の基本方針の承認や、教育活動について意見を述べる。

コミュニティ・スクール

学校運営協議会制度を導入した学校のこと。

さ行

J E Tプログラム

語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業

ジュニアリーダー

子ども会を中心に地域活動を行う青少年のことをいう。市内の小学校5年生と6年生を対象に、様々な体験を通して、あいさつや集団生活でのマナー等ジュニアリーダーとして活動するために必要なスキルを身に付けるとともに、みんなで楽しく活動し、交流の輪を広げることが目的としてジュニアリーダー養成講習会を実施

生涯学習まちづくり出前講座

市民のニーズに応じて市の職員等が、直接市民生活や生涯学習の推進に役立つ情報を発信し、市民の学びを支援する講座

小中連携教育推進事業

各校の地域性等を踏まえた目指す児童生徒像を明確にし、小中学校9年間を見通した学習指導、生徒指導ができるように小中学校の教員・児童生徒の交流を推進する事業

情報モラル教育

情報社会では、一人一人が情報化の進展が生活に及ぼす影響を理解し、情報に関する問題に適切に対処し、積極的に情報社会に参加しようとする創造的な態度が大切であり、学習指導要領では、「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」を「情報モラル」と定めて、教育の推進を図ることとされている。

米原市人口ビジョン

平成27年に人口の現状や課題、目指すべき将来展望を示す「米原市人口ビジョン」を策定し、令和2年3月に改訂

スクリーニングケアサポーター

不登校傾向や不適応の児童が、活力を高めながら自信を回復することができるように、その家庭や学校へ派遣され、学習面や生活の個別支援を行う支援員

スクールガード

子どもたちを不審者から守ることを目的として、登下校時において見守りを行うボランティア活動

スクールカウンセラー

いじめや不登校対策として、児童生徒・保護者・教師などからの相談に対応するため、学校に配置される臨床心理士などの専門家

スクール・サポート・スタッフ

教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう、授業準備や採点業務の補助など教員が行う業務のうち、専門的な知識や技能を要しない業務をサポートするスタッフのこと。

スクールソーシャルワーカー

特に子どもの家庭環境に起因する問題に取り組むため、社会福祉的な立場から家庭訪問をして保護者のケアをしたり、教職員への指導や助言をしたりするなど、子どもを取り巻く環境に働き掛けるとともに、関係機関の連携・仲介・調整等に従事する専門家

健やかタイム

子どもたちの運動遊び時間の確保と、子どもたちに体を動かすことの楽しさや喜びを味わう経験を通して体力・運動能力の向上を図ることをねらいとした取組を各校で実施

スポーツ国際交流員（SEA）

Sports Exchange Advisor の略で、特定のスポーツの専門家として、地方公共団体で学校の生徒や地域の優秀な選手に対するスポーツ指導の補助等のサポートを行う。

性的マイノリティ

性的少数者。代表的な、レズビアン（lesbian、女性同性愛者）、ゲイ（gay、男性同性愛者）、バイセクシュアル（bisexual、両性愛者）、トランスジェンダー（transgender、生まれたときに割り当てられた性に苦痛や違和感をもつ、またはその性にとらわれない性のあり方をもつ人）の頭文字をとって、LGBTと総称されることもある。

総合型地域スポーツクラブ

スポーツを核とした豊かな地域コミュニティを創造し、生涯にわたって誰もが身近な地域でスポーツに親しめる環境を整えるために設立された新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、それぞれの志向やレベルにあわせて、多様な種目の活動ができるという特徴をもっている。地域住民により自主的・主体的に運営されている。

た行

TMT（チームまいばら先生の会）

教職員の資質・能力の向上を目指すため、教育相談・学級経営・生徒指導・道徳・教科研究などの教育課題や研究を進めている教職員を中心とした勉強会

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）

社会教育法第9条の7において、教育委員会の施策に協力して、地域と学校との情報共有や活動を行う地域住民等への助言などを行う人材

地域学校協働活動推進事業

幅広く地域住民などの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えながら、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を推進する事業

チームまいばら先生の会（TMT）

教育課題や研究を進めている教職員を中心とした勉強会

超スマート社会（Society5.0）

超スマート社会は、「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」の次に来る社会と位置付けられており、この新しい社会の実現に向けた一連の取り組みがSociety5.0。サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会として、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

長寿命化計画（米原市学校施設長寿命化計画）

長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るとともに、教育環境の質的改善、防災機能の強化、バリアフリー・省エネルギー対策などを併せて実施することにより学校施設を長寿命化し、再生整備することを目的とした計画。

通学路交通安全対策推進会議

米原市通学路交通安全対策推進会議設置要綱に基づき設置された会議。通学路の安全確保に向けた着実かつ効果的な取り組みを推進するため、道路管理者、警察、学校関係者、教育委員会等により構成されている。

米原市通学路交通安全プログラム

平成 27 年 2 月、通学路の安全を確保するために策定された通学路の安全確保に関する取組方針のこと。

通級指導教室

小中学校の通常の学級に在籍している特別支援を要する児童生徒に対して、各教科などの指導を通常の学級で行いながら、個別の課題の改善・克服のために別の教室で行う指導形態。

米原市特別支援保育支援委員会

保育所、幼稚園及び認定こども園における障がい児等の特性に応じた適正な保育を行うため、米原市附属機関設置条例(平成 28 年米原市条例第 3 号)第 2 条の規定により設置された会議体。

は行

8・3（ハチ・サン）運動

小学校の登下校時刻である午前 8 時と午後 3 時頃に、なるべく外の用事（畑仕事やウォーキング等）を行いながら子どもたちを見守ろうというもの。

発達支援センター

市にお住まいの発達障がいのある方やその家族、また発達障がいに関わる支援者・関係機関への相談支援・発達支援・就労支援及び啓発活動と研修等を関係機関と連携しながら実施。

東草野の山村景観（国の重要文化的景観）

平成 26 年 3 月 18 日付けの国の官報告示経て、米原市の国の重要文化的景観に選定された。東草野の山村景観は、滋賀県北東部の姉川上流において、峠を介した流通・往来によって発達した景観地で、カイダレなど独特の設備を備えた民家形態や、集落ごとに発達した副業など、豪雪に対応した生活・生業によって形成された文化的景観となっている。

ビブリオトーク

本の紹介をし、その中に本の内容と書評を織り交ぜることのできる活動のこと。

文化財保存活用地域計画

各市町村において取り組んでいく目標や取り組みの具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランのこと。

冒険遊び場

子どもたちが、自然の中で自由にのびのびと遊び、多少の危険の伴う体験の中から、自由な発想で自らが遊びをつくりだしていく遊び場のこと（プレイパークとも言う）。

ま行

米原市通学路交通安全プログラム

平成 27 年 2 月、通学路の安全を確保するために策定された通学路の安全確保に関する取組方針のこと。

学びあいステーション

令和 3 年 4 月 1 日から米原・近江・山東公民館、伊吹薬草の里文化センター（公民館施設部分）が生涯学習機能を核とした、学びを通じて自分のしたいことと地域の課題が結び付き、多様な主体がつながることを目的に実施する交流の場

まなびサポーター

米原市では「学びの場づくりの推進」に取り組んでおり、地域で活躍する人材や、ルッチまちづくり大学などをはじめ様々な学習活動を通じて得た知識や技術などの学習成果を地域に還元する仕組みとして、平成 21 年度から「米原市まなびサポーター」制度を運用

や行

要保護児童対策地域協議会

虐待を受けた子どもを始めとする要保護児童等に関する情報の交換や支援を行うために協議を行う場。平成 16 年児童福祉法改正法において、法的に位置づけられた。

萬留帳（よろずとめちょう）

万治 3 年(1660年)から昭和30年(1955年)まで295年間の柏原の出来事を記した史料

ら行

ルッチまちづくり大学

社会経済情勢が大きく変化していく中で、「地域に根ざす。幸せになる。」をコンセプトに、特色ある地域づくりや協働のまちづくりを進めるための地域の担い手を育てることを目的としている。

ルッチみらい会議

多様なニーズをとらえることを企図し、ルッチまちづくり大学の卒業生・現役生を加えた会議のこと。

レファレンスサービス

図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務のこと。

わ行

ワールドマスターズゲームズ

1985年のトロント大会を皮切りに4年ごとに世界各地で開催され、世界最大級の生涯スポーツの総合競技大会。ワールドマスターズゲームズの第10回大会が令和4(2022)年5月、関西で開催。米原市はホッケーの会場となる。